

令和5年度の取組状況（がん対策）について（報告）

「第3期山口県がん対策推進計画」に基づき、「がん検診の受診率向上」、「がん医療水準の向上」、「がん患者、家族のための相談支援の充実」など、総合的ながん対策に取り組んでいます。

◇がん検診受診促進強化対策事業

検診受診率50%超をめざし、意識啓発やがん教育、受診環境整備等の取組を強化

<意識啓発・がん教育>

○がん検診普及啓発・受診勧奨強化事業

- ・がん征圧月間（9月）、やまぐちピンクリボン月間（10月）における全県的なキャンペーン等の実施（10市20施設（箇所）にけるピンクライトアップ等）
- ・がん検診受診促進連携協定締結企業と共同でリーフレットを作成
- ・協定締結企業、がん検診受診促進協力事業所、県薬剤師会等をつうじたポスター、チラシの配布
- ・出前講座をし「がん検診県民サポーター」の養成（R6.1月末までに1,758名認定、R5年度は63名）

○学校におけるがん教育（教育庁）

- ・原則、全ての公立中・高でがん教育を実施
⇒学校におけるがん教育推進事業活用校8校
（参考）令和4年度に外部講師を活用してがん教育を実施した公立学校の割合は10.8%（52校）（最新値）
- ・医療従事者、行政関係者、がん経験者等を対象として学校におけるがん教育に係る外部講師拡充のためのオンライン説明会を実施

<受診しやすい環境整備>

○休日等がん検診受診促進事業

- ・県内全域における休日・平日夜間のがん検診実施体制確保（9月～12月実施）
〔対象検診〕

休日	乳がん・子宮頸がん（一次検診）大腸がん（要精密検査）
平日夜間	乳がん・子宮頸がん（一次検診）

- ・R5年度は71医療機関が参加、受診者は500名程度を見込む

<がん検診の精度管理>

○がん検診精度管理強化事業

- ・検診精度向上のための検査従事者への専門講習会等の実施
- ・各がん部会にて市町がん検診の実施状況を検証し、技術的助言等を実施

<がん施策の評価>

○がん施策評価事業

- ・山口県がん対策協議会の運営、次期がん対策基本計画（保健医療計画）の策定

◇誘ってがん検診キャンペーン推進事業

家族や友人同士が誘い合ってがん検診を受診するキャンペーンを官民一体となって実施し、受診率向上への取組を強化

○応募抽選キャンペーンの実施

- ・ 2人1組でがん検診を受診し、応募した組に抽選でカタログギフト、協定企業等からの協賛賞品、女性対象の「やまぐちピンクリボン賞」を贈呈
- ・ 応募者延べ4,786名（R5.3時点）、R5年度上半期は454名（R4同期比▲34名）

○あらゆるチャンネルを活用した情報発信

- ・ 専用ホームページやテレビCM等のあらゆるチャンネルを活用した情報発信
- ・ ピンクリボン月間と連動した広報活動

◇がん医療体制整備事業

様々ながんの病態に応じて質の高いがん医療を受けることができるよう、人材育成や体制整備を推進するとともに、がんの罹患状況の正確な把握を行うため、がん登録推進法に基づく全国がん登録の実施体制の整備を推進

<がん拠点病院体制整備>

○がん診療連携拠点病院機能強化事業

- ・ がん診療連携拠点病院等が行う人材育成や、ネットワーク構築への支援

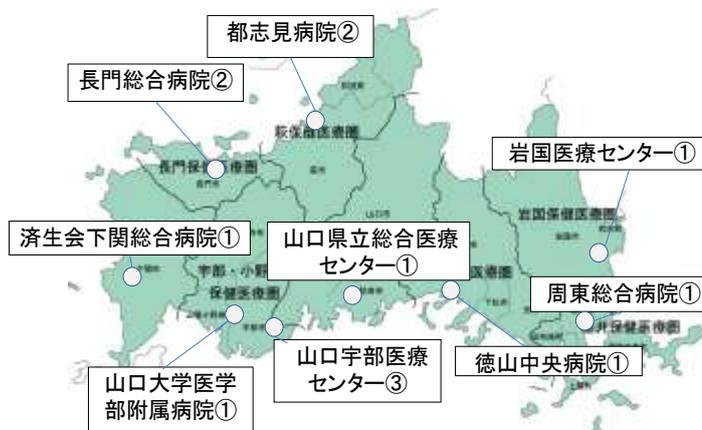
○がん医療人材育成事業

- ・ がん専門医等の資格取得に係る経費助成

○がん診療施設施設・設備整備事業

- ・ 施設・設備整備への助成

県内のがん診療連携拠点病院等



注①がん診療連携拠点病院（周東総合病院は「特例型」）
②地域がん診療病院
③特定領域がん診療連携推進病院（肺がん）

<緩和ケアの推進>

○緩和ケア推進事業

- ・ がん診療に携わる医師等に対する緩和ケアの基礎的知識習得のための研修会の実施

<がん登録の推進>

○がん登録推進事業

- ・ 全国がん登録制度の運営やがん登録担当者に対する専門的研修会の実施

◇がん相談支援体制整備事業

がんになってもがんと向き合い、安心して暮らせるよう、がん患者、家族が抱える不安や悩みに対応できる相談支援体制や、患者等が必要とする情報提供を充実

○がん相談支援体制強化事業・がん患者支援事業

- ・がん患者と家族の多様な悩みに対応する「山口県がん総合相談窓口」の設置
⇒R5年度（1月末まで）の相談件数は191件
- ・相談支援推進のための研修等の実施

◇アピアランスケア推進事業

がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化に対するケアを通じ、社会参加を支援し、がん患者のQOL向上への取組を強化

○アピアランスケア用品の購入費助成

- ・アピアランスケア用品の購入費の2分の1（上限3万円）を助成

（対象となるアピアランスケア用品）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・全頭かつら（装着に必要な頭皮保護用のネットを含む）・ケア帽子（医療用帽子）・胸部補整具（補整下着、エピテーゼ等）・乳がん用バストタイムカバー（温泉入浴着） |
|---|

- ・R5年度（1月交付分まで）の助成実績は、231件
（全頭かつら：206件、ケア帽子：83件、胸部補正具：19件、バストタイムカバー：1件 ※複数種用品で交付申請可能）

◇妊よう性温存治療費助成事業

小児、思春期・若年（AYA世代）がん患者に対し、将来に希望をもってがん治療に取り組むことができるよう、がん治療開始前に行う生殖機能（妊よう性）温存治療及び温存後生殖補助医療に係る費用の一部を助成

- ・R5年度（1月交付分まで）の助成実績は、11件
（精子凍結保存：4件、未授精卵子又は胚凍結保存：6件、凍結した胚を用いた生殖補助医療：1件）